

## 2012-13年度 テクニカル・コーディネーター

### 委員長と副委員長

Michael Webb (英国)

Francis Tsubira (ウガンダ)

### 「基本的教育と識字率の向上」

Sylvia Byers (オーストラリア)

Jones Kyazze (ウガンダ)

John Thorne (オーストラリア)

### 「母子の健康」

Keith Barnard-Jones (英国)

Patricia Canning (オーストラリア)

Stanley D. Fike (カナダ)

### 「疾病予防と治療」

Manoj Desai (インド)

Jos Nolle (カナダ)

Estela Emeric (アルゼンチン)

### 「経済と地域社会の発展」

Deniel Banks (米国)

Amégnizi Maurice N. Eдорh (トーゴ)

Cecilia Reyes (フィリピン)

### 「平和と紛争予防／紛争解決」

Caleb E. Lucien (米国)

Hugh Munro (スコットランド)

Mark Zober (イスラエル)

### 「水と衛生設備」

Kurt Bay (スイス)

Brian E. Foley (オーストラリア)

Vishwas Sahasrabhojane (インド)

## 委員長からのメッセージ

Michael Webb

プロジェクトの監査や評価が頻繁に行われる時期となりました。補助金資金の適切な管理のために、時間と専門スキルを惜しみなく寄せていただいている専門家のグループの皆さまに、感謝いたします。

本ロータリー年度は、これまでに7件の専門家による評価が完了しました。プロジェクト現地訪問は29カ所が完了、間もなく12カ所への訪問が実施されます。財務専門家は、3件の監査を終了し、17件が現在進行中または予定されています。未来の夢の導入に伴い、専門家グループのスキルが活用される機会が増加しました。

機会が増加するにつれて、新メンバーを見つけるニーズも高まっています。ガバナーの皆さま、地区で財団専門家の適任者をご存じないでしょうか。グループでは現在、以下の方々を求めています。

- 重点分野を問わず、アフリカ在住のロータリアン
- アフリカおよびアジアに在住の、母子の健康専門家(例: 看護師、産科医など)
- 水と衛生の専門家(例: 土木技師またはメカニカル・エンジニア)
- 北米または中米在住で、スペイン語が堪能な監査専門家
- 重点分野を問わず、ポルトガル語が堪能なヨーロッパまたはアフリカ在住の専門家
- プロジェクトのモニタリングおよび評

価の分野で職業経験のあるロータリアン

ロータリアンが専門家グループのメンバーとなるには、クラブでの会員義務およびロータリー財団補助金における義務を果たしており、所属地区のガバナーから承認の署名を受ける必要があります。この条件を満たすロータリアンをご存知でしたら、ぜひ[専門家グループ登録書式](#)をご転送ください。

ご質問がございましたら、シニア・コーディネーターのクリスチャン・ペペラ ([christian.pepera@rotary.org](mailto:christian.pepera@rotary.org)) にお問い合わせください。

財団資金保護のための皆さまのご尽力に重ねて感謝するとともに、良い新年となるようお祈り申し上げます。

マイク・ウェブ



水と衛生プロジェクトの評価のために、ケニアを訪問したパスト・ガバナー Ian Rule さん

## 素晴らしい現地視察の体験

## 中国の新しい姿

キース・バーナード・ジョーンズ The Island &amp; Royal Manor of Portland ロータリー・クラブ 英国、ドーセット(第1200地区)



プロジェクトを通じて予防接種を受けた乳児(RI元理事、キース・バーナード・ジョーンズさん撮影)

留意点:本報告では、情報保護の観点から、プロジェクト実施地名や提唱組織名などに、仮名が使用されていますのでご了承ください。

去る9月、私は、3H補助金プロジェクトの現地訪問のため、中国の重慶に向かいました。このプロジェクトは、20万人の子供たちにB型肝炎の予防接種を提供するもので、香港、台湾、マレーシアのロータリアンが管理運営していました。

B型肝炎は、急性の症状が慢性の肝臓病に悪化し、場合によっては死に至ることもあるウイルス感染症です。

HIV/エイズと同様、出産、輸血、性交、ウイルスが付着した注射針と体液との接触によって伝染します。現在世界に保菌者が3億5千万人いると推定され、中国ではこの病気で毎年30万人が命を落としています。このため中国では常在病のひとつに数えられ、このプロジェクトが実施されたのもそのためでした。



予防接種を受けた子供たちに、昼食が提供されました。

中国政府は、B型肝炎に真っ向から取り組んでいます。重慶県は貧しい地域であるため予防接種の普及が進んでいません。これまで、ロータリアンは重慶県の3つの郡で接種活動を開始し、地元政府はそれから学んだ教訓をほかの郡で、はしかの予防接種などに生かしています。

このプロジェクトは、ロータリーがほかの団体とパートナー関係を結んで活動した良い例です。中国政府がワクチンの費用の一部を負担し、政治面と資金面で非常に大きな支援を提供してくれました。

私は、診療所や開校間もない最新設備の学校を訪問しましたが、それ以外に、ある村で非常に質素な設備の学校も訪れました。その際、8歳になる生徒に、「何の注射をしてもらっているの?」と聞くと「肝炎の予防注射」という答えが返ってきました。親たちには、予防接種の目的を説明した、ロータリーの徽章入りの手紙が渡され、会場には、予防接種の実

施を知らせる大きなバナーが張られていました。これこそ、行動するロータリーの良い例でした。

最後となりますが、中国語を話せない私のためにこの旅行に同行して下さった、香港のロータリアンにお礼を申し上げます。これらのロータリアンの方々にとって、おそらく、この旅行は今まで中国政府と築いてきた関係の中で、ごく日常的出来事だったのでしょ。これは、中国におけるプロジェクトの将来に対して、大きな希望を抱かせる体験でした。

## 最近の現地視察



インドにあるこの学校にトイレ、机やイス、教員や保護者に対する研修を提供したプロジェクトは、Vittal Raoパスト・ガバナーが評価しました。



ベナンのある村での水と衛生プロジェクトは、ロータリアンAndrea Oessさんが実施地に渡航し、評価を行いました。当地では、洪水が起ると写真のような舟が唯一の交通手段となります。



## ゾーン研究会や地区大会における専門家グループの貢献



11月、トルコのイズミールで開催されたゾーン研究会では、(写真左より)Turgut Gökyiğit パスト・ガバナー、Birsen Gökyiğit さん、Cecelia Babkirk 地区補助金管理委員長、Korhan Atilla ガバナー・ノミニーが、分科会のパネリストを務めてくださいました。資金管理部一同より、お礼申し上げます。

本年度は、財団専門家グループについてロータリアンにもっと知っていただくための機会がすでに何度かありました。11月には、コーディネーターのクリスチャン・ペペラが、米国カリフォルニア州で開かれた第5160地区大会で、補助金地域担当者であるメアリー・ハワードとともに、分科会を行いました。プレゼンテーションでは、グローバル補助金、ロータリー財団補助金資金管理における財団専門家の関与、そしてプロジェクト評価が扱われました。専門家グループのメンバー、Michael Burringtonさん(第5160地区、Concord ロータリー・クラブ)が世界中での任務における体験と課題についてのプレゼンテーションを行い、50名ほどの出席者と、質疑応答の場も設けられました。

また、7月にザンビアのリビングストンで開催された、第20Aゾーン研究会や、11月にトルコのイズミールで開催された第20Bゾーン研究会でも、財団専門家分科会で発表を行いました。

地区補助金管理委員長の Cecelia Babkirkさん(第5170地区、米国カリフォルニア州Cupertino ロータリー・クラブ)と、パスト・ガバナー Turgut Gökyiğit さん(第2420地区、トルコ、Istanbul-Topkapi ロータリー・クラブ)から、以下

の投稿をいただきました:

「ロータリー財団専門家グループは、あまりよく知られているとは言えませんが、非常に重要な役割を果たしています。専門家グループの責務は、金額の大きいマッチング・グラント、3-H補助金、そしてこれからは未来の夢のグローバル補助金と地区補助金プロジェクトにおいて、提唱者が、ベストプラクティスと適切な補助金管理を行っていることを、確認することにあります。

トルコで11月に行われた第20Bゾーン研究会では、専門家グループによる分科会に21人のロータリアンが出席し、パネリストとして4人の専門家が、専門家グループ・プログラムの概要を説明し、現在必要とされている人材を出席者に伝えました。

最初に、パスト・ガバナー、Turgut Gökyiğit さんが、専門家グループの役割、ロータリアンが専門家グループに加わる方法、さらに、専門家に対する任務の割り当て基準を説明しました。ガバナー・ノミニー、Korhan Atillaさん(第2430地区、トルコ)は、グローバル補助金について説明し、プロジェクトの重点、持続可能性、資金管理における専門家の役割を紹介しました。また、専門家が務める様々な任務についても説明し、それに対して、未来の夢補助金マネージャーである、アビー・マクニアが、グローバル補助金授与額が50,000米ドルを超えた場合に、財団専門家による評価が必要となることを付け加えました。

次に、地区補助金管理委員長、Babkirk、Birsen Gökyiğit さんと、Gökyiğit パスト・ガバナーが、ホンジュラス、グアテマラ、ケニア、ガンビアで行ったプロジェクト実施地訪問についてのプレゼンテーションをした後、それぞれが経験した課題(実施国および/または援助国ロータリアンによる十分な協力の欠如、プロジェクトにおける実行可能性と持続可能性の欠如、困難な環境条件、文化的課題など)などについて説明しました。しかし、これらのプロジェ

クトでは、このような課題は克服され、ニーズを抱えた地域社会に貴重なサービスやリソースが提供されました。

最後にパネリストは、プロジェクトにおいて何かおかしかったと感じた場合に必ずそれを追求し、また地域社会でプロジェクトの恩恵を受ける人々にいろいろと質問してみることの大切さについて話しました。聴衆の中にいた専門家の一人からは、『補助金で購入された機器の存在とその所在を確認することは、規定により義務付けられているが、それだけでなく、その機器の電源を入れてみて実際にそれが機能しているかどうかを確認することも、プロジェクト評価の一環として行うべきだ』という指摘がありました」

### 次回の専門家グループ研修会:

6月21日(金)

次回の専門家グループ研修会は、2013年RI国際大会の開催期間中、ポルトガルリスボンにて行われます。専門家グループのメンバーだけでなく、グループ参加に関心のあるロータリアンや、ロータリー財団補助金資金の管理についてさらに学びたいロータリアンは、ぜひご参加ください。研修会の詳細は、後日お知らせいたします。



## ロータリー財団の持続可能性のチェック



ロータリー財団のプロジェクト持続可能性チェックのために、インドでの小児心臓手術プロジェクトの受益者を訪問するSubhranka Chakrabartiさん



財団の持続可能性チェックの一環として、ホンジュラスでプロジェクト実施地を訪問するロータリアン、Maureen Duncanさん

ロータリー財団は2012年4～5月、「疾病予防と治療」および「基本的教育と識字率向上」の重点分野を支えるマッチング・グラント・プロジェクトおよびグローバル補助金プロジェクトの、持続可能性評価を行いました。財団は、プログラムの評価や社会調査を専門とするAbt SRBI社に依頼し、財団専門家グループの協力を得て、プロジェクトの持続可能性の確認を行いました。

ホンジュラス、インド、ケニアにあるプロジェクト実施地を、4人の財団専門家が訪問し、Abt SRBI社とともに、データ収集、アンケート調査、大量の書類評価、質的調査のためのインタビュー、さらにはプロジェクト受益者および利害関係者との座談会を実施、財団は、得られた結果や評価で上がった推奨事項を、今後の補助金プロジェクトにおける長期的持続可能性の向上に役立てています。

プロジェクト実施地で、Abt SRBI社を手伝った専門家の一人である外科医、Subhranka Chakrabartiさん(インド、Burdwan South ロータリー・クラブ所属)は、その体験を次のように語っています:

「ロータリー専門家グループに登録後

間もなく、私は南インドのプロジェクトに対する、財団の持続可能性チェックに参加するよう要請を受けました。自宅に厚い書類ファイルが届き、そのファイルには、南インドで行われた4件の小児心臓手術に関する書類が含まれていました。かなり勉強し、自分の調査能力に不安を感じながら、自分を励ましつつ、持続可能性チェックを完了することができました。

評価の内容を語ることは規定により禁じられていますが、ただ一つ申し上げられることは、エバンストンの財団担当者の方々が、きめ細かな詳細や、誤解を生みやすい内容、規定順守の判断が難しい内容を含め、プロジェクトの詳細を实によく理解しているということです。綿密に作成された指針のおかげで、私はプロジェクトの連絡担当者よりも、プロジェクトの内容をよく理解できたと思います。

この5月の体験は、私にとってとても有意義なものでした。現在は地元に戻っていますが、自分の外科医としての日常業務とは全く異なる経験をすることができました。以前は、空港でパソコンやiPadを上手に操るビジネスマンをうらやましく思っていたものですが、財団専門家として、インタビューや訪問やその他の会話の結果を、テクノロジーを駆使して移

動中に報告するのは、日常茶飯事でした。ロータリー財団のおかげで、私は新しいことを学ぶ機会を得たのです。

ロータリーのために

Subhranka]

## 資金管理担当職員

メレディス・バールー  
マネージャー

[meredith.burlew@rotary.org](mailto:meredith.burlew@rotary.org)

サラ・クリステンセン

地区支援スペシャリスト

[sarah.christensen@rotary.org](mailto:sarah.christensen@rotary.org)

クリスチャン・ペペラ

シニア・コーディネーター、専門家グループ

[christian.pepera@rotary.org](mailto:christian.pepera@rotary.org)

タニア・デュボン

会計監査スペシャリスト

[tannia.dubon@rotary.org](mailto:tannia.dubon@rotary.org)

ラジャシュ・アナン

会計監査シニア・コーディネーター

南アジア事務局、インド

[rajesh.anand@rotary.org](mailto:rajesh.anand@rotary.org)